



農作物・農具の 盗難に注意!!



問 農業政策課内線1512

農作物の盗難が全国的に増加しており、今年茨城県内においてもお米の盗難被害等が発生しています。また田んぼに水を入れる際に必要な金属製給水バルブの盗難被害も発生しています。農家さんだけでは被害を防ぐことが難しくなっていますので、地域一体となった防犯対策を行い、被害を防ぎましょう！

基本的な対策

- ◆収穫物や使用しない農具は速やかに自宅へ持ち帰る。
- ◆施錠を徹底する。



不審者の侵入防止

- ◆ネットや柵の設置による物理的な防壁の構築。
- ◆防犯カメラやセンサーライトの導入。

地域ぐるみの対策

- ◆盗難を発見した場合や不審な行動を確認した際は、警察・市・土地改良区等へすぐに連絡する。

地域の方々がお互いに声掛けをすることでも、盗難被害を防ぐことに繋がります。農家さんが手塩にかけて育てた農作物や、その農作物を育てるために必要な道具を、地域一体となって守りましょう！

詳しくは市ホームページをご覧ください▶



ささエール

地域包括支援センターだより
Vol.34

お気軽にご相談ください！

地域包括支援センターとは、高齢者の方々が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から支援する総合相談窓口です。

《事例紹介》夫が認知症 二人暮らしの70代夫婦のケース

二人暮らしの夫婦。数年前から夫に物忘れのような症状があり、一度物忘れ外来を受診するが、本人の強い拒否で受診が継続できていなかった。

日常生活では大きな問題はなく、妻が見守りをしていれば、生活できていた。



数年後、入浴などの日常生活の行動が一つ一つ指示しなければできない状況に。言葉も出づらくなり、感情の起伏も大きくなってきた。妻から地域包括支援センターに相談があり、自宅での様子確認のために職員が訪問。本人と妻に病院受診の必要性や介護保険の申請について説明し、納得してもらう。

病院を受診し、検査の結果アルツハイマー型認知症と診断された。定期受診を継続し、服薬指導を受けたり、主治医に日常生活での本人の病状などを相談できている。また、介護保険の申請を行い、他者との交流を目的としたデイサービスなどのサービスを利用し始めた。

地域包括支援センターでは、認知症についての相談も受け付けています。本人の自覚の有無にかかわらず、ご相談ください。

ご相談はこちら▶ 牛久市地域包括支援センター☎878-5050、牛久市地域包括支援センター博慈園☎871-5110